

# 「学生とシニアの対話イン八戸 2015 年度」事後アンケート結果

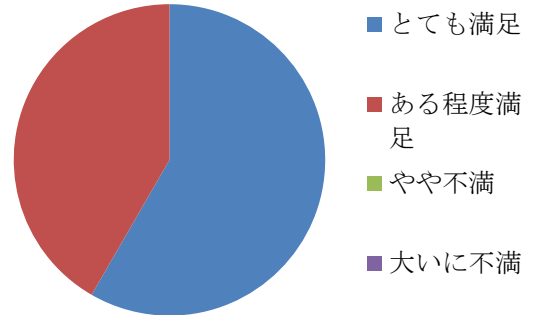
纏：大野 崇

1 あなたの学年、専攻をご記入願います。

計24名の学生が参加した。(機械情報技術学科12名、電気電子システム学科7名、情報システム情報工学科5名) 全員学部3年で、全員がアンケートに答えてくれ、回収率は24/24の100%である。

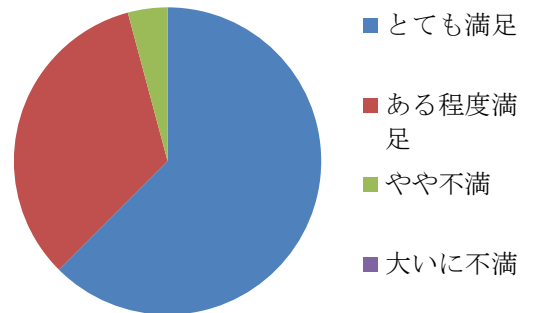
2 講演の内容は満足のいくものでしたか？ その理由は？

とても満足した 14人  
ある程度満足した 10人  
やや不満だ 0人  
大いに不満だ 0人



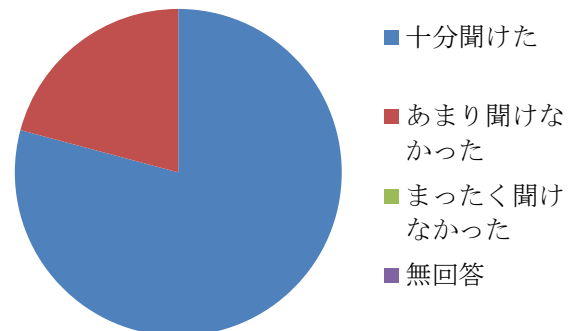
3 対話の内容は満足のものだったか？その理由は？

とても満足した 15人  
ある程度満足した 8人  
やや不満だ 1人  
大いに不満 0人



4 事前に聞きたいとおもっていたことは聞けましたか？

十分聞くことができた 19人  
あまり聞けなかった 5人  
まったく聞けなかった 0人 無回答 0人



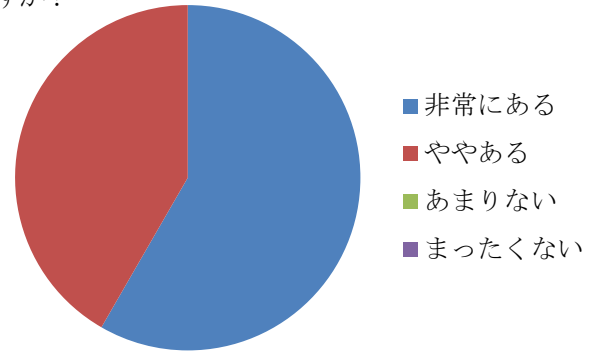
5 今回の対話で得られたことはなんですか？

- ・高レベル放射性廃棄物の処理、処分の仕方
- ・原子力の未来
- ・これからは若い私たちがやっていかなければならないということ
- ・日本は世界をリードする研究開発施設が整備されているということ
- ・原子力のあり方
- ・ベストミックスの内容の再吟味
- ・技術的に安全であっても社会から評価されなければ意味がないこと
- ・原子力を取り巻く現在の環境(法整備など)
- ・広い視野で物事を考えること
- ・社会的な関係
- ・シニアの原子力に対する考え方
- ・原子力に対する安全の考え方
- ・物事に取り組む際の心構え
- ・発表力、意見をまとめる力の必要性
- ・正しい知識の重要性

6 「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように考えますか？

その理由は？

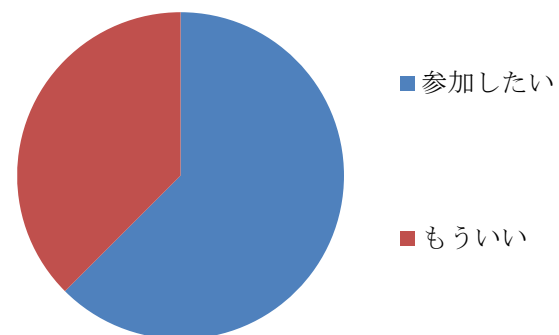
非常にある 14人  
ややある 10人  
あまりない 0人  
全くない 0人



- ・原子力を本気でやる学生には大切なことだから
- ・原子力で働いてきた人の経験を踏まえた見識や貴重な話を聞くことができるから
- ・自分たちが調べた情報とは異なった間近な話を聞け意見交換ができるから
- ・話しやすいから
- ・知識は素晴らしいが年齢差からくる固さを感じた
- ・資料とかネットでの情報収集には限界があるので、原子力関係の人に直接話をいろいろ聞ける貴重な機会だから
- ・今と過去の違いや考え方の違いなど世代を超えた話が聞けるから
- ・知識が豊富になり考えがふかくなるから
- ・実際に働いていた人がどのようなやりがいを感じ、どのようなことが大変だったかを聞くことで、原子力分野に就職しようとしている人もそうでない人も就職について考える機会を得ることができ、今の時期に対話会を行うのは大切であると思うから
- ・研修で原子力について学ぶことはできるが、シニアとの対話機会はないから
- ・浅かったり理解不足であったり間違っ覚えていたりしたしていた知しく理解する良い機会であった
- ・もう少し対話をしたかったがたいぶ一方的であった
- ・高レベル放射性廃棄物について詳しい廃棄方法や現在の日本や世界の状況について疑問が解決され、また、原子力そのものが必要なのか今後どう付き合い合っていけばよいのかを深く掘り下げて話し合うことができ対話会は有意義であった。

7 今後機会があれば再度シニアとの対話に参加したいと思いますか？

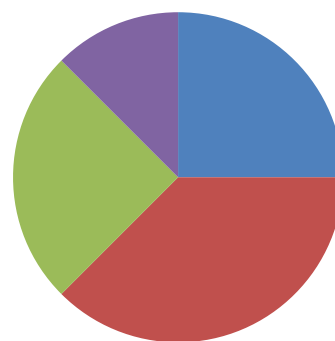
参加したい（話足りない・知識を増やしたい） 15人  
もういい（十分話げた） 9人



8 エネルギー危機に対する認識に変化はありましたか？

大いに变化した	6人
多少变化した	9人
あまり变化しなかった	6人
まったく変化しなかつた	3人

- ・研修などで原子力が必要だと考えていたのであまり変化しなかった
- ・原子力は環境に影響を与えないことを知り変化した
- ・原子力はエネルギー資源争奪紛争回避の役割を担うと知り変化した
- ・必要性和リスクの観点で認識を得て多少変化した
- ・原子力の再稼働はエネルギー危機回避に役立つことは知っていたのであまり変化しなかった。
- ・もともと原子力は大事だと思っていたからあまり変化しなかった

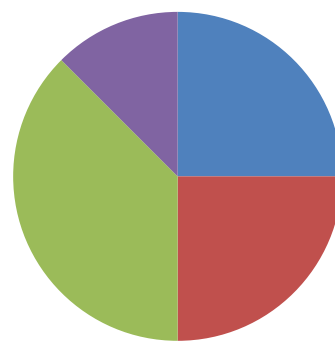


- 大いに变化した
- 多少变化した
- あまり变化しなかった
- まったく変化しなかった

9 原子力に対するイメージに変化はありましたか？その理由は？

大いに变化した	6人
多少变化した	6人
あまり变化しなかった	9人
まったく変化しなかった	3人

- ・原子力体験研修で原子力を理解したので今回の対話ではあまり変化しなかった
- ・原子力は危険というイメージであったが、徹底した安全管理がなされていることを知り危険というイメージが消えおおいに変化した
- ・原子力の再稼働に向けどのようにやっていくかの話を聞き大いに变化した
- ・映像により地層処分の理解が進み多少変化した
- ・既に原子力のメリット、デメリットを学んでいたためあまり変化しなかった
- ・原子力が必要であるという考え方なのであまり変化しなかった
- ・シニアと考え方が同じなので変化しなかった
- ・原子力は大事と思っていたのであまり変化はなかった
- ・原子力の安全管理は研修で勉強していたが、処理場で行われている安全管理の話を聞き多少変化した
- ・最終処分場の問題はなくなるという考えなので全く変化しなかった
- ・原子力は正しく取り扱えば危険性は少なくできること、原子力を語る時「安全」と「危険」という二項対立で断定してはいけないことを知った。また、他の人に理解をしてもらうには慎重に言葉を選んで説明することが必要性であることが非常に伝わってきた。高レベル廃棄物は危険と思っていたが、厳重に何層も包むことで自然界にある放射能レベル以下に下げ得ることを知り多少変化した

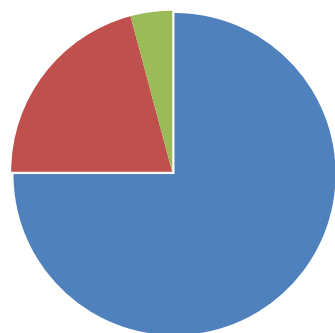


- 大いに变化した
- 多少变化した
- あまり变化しなかった
- まったく変化しなかった

10 今回の対話で自分の学科との関連性を見出すことができましたか？その理由は？

見出せた	18人
見出せなかった	5人
どちらともいえない	1人

- ・システム情報科原子力の今後はどう生かせるかについて話し合い、高レベル放射性廃棄物処理施設の全自動化システム、SNSを用いた啓蒙活動等で関わりが持てるということが分かり関連性を見出せた

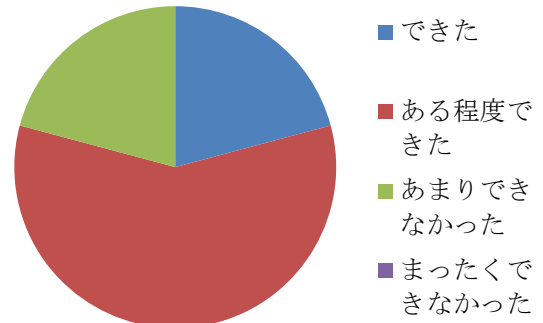


- 見出せた
- 見出せなかった
- どちらともいえない
-

- ・原子力発電は電気電子システム学科と密接に関連し、関連性を見出せた
- ・機械情報技術学科は全ての分野と関連し特に原子力に強く関連する部分は部分は見られなかったので見出せなかった
- ・原子力は機械科も必要としているので就職の点で関連性を見出せた

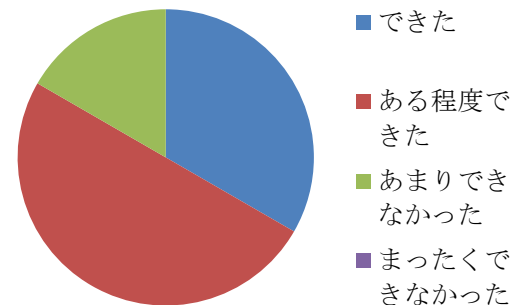
1 1 対話の内容から将来のイメージができましたか？

できた	5人
ある程度できた	14人
あまりできなかった	5人
まったくできなかった	0人



1 2 対話の中でシニアが思う若手の役割を理解できましたか？

できた	8人
ある程度できた	12人
あまりできなかった	4人
まったくできなかった	0人



1 3 自分が思っていた若手の役割とシニアの考えは違いましたか？どのような違いがありましたか？また、シニアの考えを聞くことで、自分の考えに変化はありましたか？できるだけ詳しくお答えください。

- ・高レベル放射性廃棄物は自分達には関係ないと思っていたが、原子力発電と密接に関係し電気専攻の自分と関係することが分かった。ガラスというどこでもあるもので固化して廃棄物を処分することに驚いた。シニアとの対話で質問以外にも答えてもらい大変参考となった。
- ・若い世代が自ら考え答えを出すという姿勢が大事であると強く感じた。我々が新たな考えやこれまでの知識を吸収することで原子力の未来は切り開けると感じた
- ・事故処理をする時に、私たちがどこまで直接作業をするかなど課題を考えることが役割と思った
- ・我々が原子力について知らない人に原子力の安全性を教える人材となり、高レベル放射性廃棄物についても、処分場を一刻も早く決定し廃棄物の問題を解決する役割を担う必要があることを学んだ
- ・学生とシニアでは知識にかなりの差があったが同じ考えの部分もあり内容の高い対話ができる
- ・若手の役割は技術レベルアップと考えていたが、シニアの考えは保守的で今の状態を守っていくように感じた
- ・今、目の前にある仕事をするのは大事だが、原子力は使用済み燃料など長期的な問題にも目を向けて仕事をしなければならぬことを学んだ。そして、新たな廃棄物処分の方法などの開発をしていけばより良い原子力の姿をメディアに知らせることができると思った
- ・だいたい同じ考え方をしていることがわかった
- ・シニアはとても深く細かいところまで考えていることを知りました。自分の考えはまだまだ浅いということを感じました
- ・高レベル放射性廃棄物の解釈がシニアと我々でイメージが全然違うことがわかった。例えば、「放射能漏れ」の漏れのイメージが異なる。シニアは原子力の知識が豊富であるが、私たちは、大学の授業程度でほとんど知識がない。そんな我々が原子力を

一般の人たちに説明するのにギャップをどう埋めるかを考えていかなければならないと思った。また、シニアの「命かエネルギーかでなく、両方バランスをとって共存していく道を選ぶべき」という言葉に共感した。リスクマネジメントがキーワードで共存可能と思った

1 4 本企画を通して全体の感想・意見などがあれば自由に書いてください。

- ・良かった点は、普段全く接せないような人達と交流を深められるところが良いと思った。悪いところはそこまでないと思ったけど、もっと詳しく知りたい人や就職予定の人と、もっと質の高いシニアとの対話などすれば良いと思った。
- ・グループの人数に偏りがあった。
- ・新たな知識を増やすことができた。
- ・まず、対話に関してのテーマ設定がかなり会話の幅を狭めてしまっていたように感じた。シニアの方からテーマを離れて自由に話してほしいということで、幅広いディスカッションが展開できた。
- ・昼食の時間があまり食べられるような空気ではなかった。もう少しお代わりができリラックスする雰囲気づくりを学生が出すべきだった。
- ・今回シニアの方々との対話に参加しこれまで学んだことの復習をしたうえで原子力エネルギーがいかに重要か改めて理解した。今回学んだ知識をいかして原子力について知らない方へ安全性を教えることができる人材になりたいと強く思った。そのうえで社会からの理解を得られるような人材、すなわち正しい教養と技術者としての倫理をこれから学んでいきたい。また改善すべき点として学生側の準備が不足していたと思う。例えば班分けを一週間前等早めに告知することで事前学習及び班内でのディスカッションなどを行い質問内容の質の向上に努めることで、より高度な対話ができただろうかと思った。
- ・学生とシニアのレベルの違いを実感できた。わからないことをシニアに聞きわたりやすい説明をしていただいた。
- ・時間配分に少し不満を感じた。レポートの作成時間が短すぎたと思う。
- ・最初は対話と聞いて、肩苦しいイメージであり気が進まなかったのですが、実際に参加してみるととても接しやすい方々でしたし、とても良い意見がたくさん聞けたのでとてもいい経験ができました。
- ・今後あるかないかの機会を与えて頂き感謝しております。
- ・とても有意義な時間になりました。
- ・最初の講義はあまり面白くなく眠くなってしまいましたがグループディスカッションはとても面白く、とてもいい時間を過ごすことが出来ました
- ・改めて自分の考え方について確認する良い機会になった
- ・現役ではなく、シニアと話すというのは新鮮でよかった。ただ、講義の時間をもう少し対話に戻した方がいいと思う。
- ・原子力関連分野で働いていて、どのようなことにやりがいを感じ、どのようなことが大変であったかを聞いてよかった。今回は一つのテーブルに二人がついて話しをしてくれたが、時間があるのならローテーションでたくさんの人と話せるといいかもしれない。
- ・とても楽しく過ごすことができたのでよかったです
- ・良かった点は積極的にシニアの人に質問することで、インターネットや新聞に載っていない情報などを聞くことができたから。悪かった点はディスカッションに十分な時間がなく意見が中途半端になったこと
- ・今回のシニアとの対話は非常に有意義だった。特に高レベル放射性廃棄物の処理の詳しい仕方やそれについてわからないことについて教えていただいたのでよかった。全員がどこかで原子力にプロフェッショナルとして関わっていて一人一人専門分野があってその専門分野に沿った質問をすればかえってこない答えはないと思えるほど幅広い方面からシニアの方達が集まっているのだと感じた。悪かった点はシニアとの「話し合い」とあるが何について話し合えばいいのか最初から最後までわからなかった。高レベル放射性廃棄物のこれからについて話せばいいのか、処理方法について話せばいいのか少しふんわりしすぎていた気がする。また、午前中かなり時間が余ったので話す材料をそろえてもう少し手短かにグループで話し合えれば時間を無駄にしないで話し合えたのではないのかと思う。

- ・たいへん貴重な体験になりました。また機会がありましたら是非参加したいと思います。ありがとうございました。
- ・実際に研修で体験してきても間違っ覚えていた知識もあったので、シニアの方の話を聞いてより知識を深めることが出来たことが良かった点です。あと、学科ごとに分かれての対話だったので、女子だけで纏められていた夏と秋の研修よりも自分の専攻する分野と原子力の繋がりを知ることが出来ました。”対話”と言いつつ、シニアの方が一方的に話すばかりでこちらから質問をする機会があまり取れなかった点は少し不満でした。午前のみ出れば良いと勘違いして、ありもしない用事をでっちあげて午後には出席しない学生が多く目立っていたので、怪しい欠席理由は言及すべきだと思います。
- ・午前と午後の内容があまり関連していなかったなので、話がしづらかった。
- ・話し合いがよかった

以上